軒昂会

軒昂会会報　第14号
発行者　日原　雄
編集者　田村千秋
発行日　平成12年12月
発行　年３回発行
http://www.dl.dion.ne.jp/~kekokai/

会報は年３回を予定しています。
皆様の原稿お待ちしています。
頂いた方にはお礼を差し上げます。
原稿の送り先
秦野市渋沢　3-2-7　〒259-1322
FAX:0463-88-2967
E-Mail：c-tamura@bd5.so-net.ne.jp
田村千秋

平成十二年度軒昂会ゴルフ会

昨年の総会でゴルフ大会に参加者が少ないことから今年は三回から二回にすることで決定しました。

第四十八回　五月二十二日
場所　函南ゴルフコース
組数　十三名　四組
優勝者　遠藤　茂
準優勝　勝俣清次
三位　本間　茂

第四十九回　十月二十三日
場所　十里木カントリークラブ
組数　十一名　三組
優勝者　勝俣清次
準優勝　兼岩紘一
三位　土谷孝之

軒昂会の唯一の行事であるゴルフ大会を来年度はやはり年三回とします。多くの会員皆様の参加を希望いたします。　本間

平成十二年度総会ご案内

総会兼新年会を開催します、会員皆様の参加お待ちしています

日時　一月二十一日～二十二日
チェックイン　三時
総会　五時半～
宴会　六時半～八時半
食べ放題・飲み放題
場所　新装になったホテルリゾートピア熱海
電話〇五五七－八三－五九五九
熱海市東海岸十三－九三
会費　一万三千五百円
議事　①軒昂会行事
②新会員紹介
③会計報告
④会社の現況

更に詳しい案内と場所は軒昂会ホームページをご覧下さい。

軒昂会ホームページ

軒昂会ではホームページを開設しています、この度掲示板を設けました。会員の皆様が自由に投稿できるシステムであり、それを会員がホームページ上で見ることが出来ます、またそのコメントに対し返事や意見をその場で書くことも出来、かつ皆様にお知らせすることが可能です。

あなたのホームページ開設しませんか、軒昂会で契約しているエリアにまだ余裕あります。
興味ある方は田村まで一報下さい。

シルクロード③

小日向　啓治

先回までは中国ウイグル自治区タクマラカン砂漠北側、中央アジア横断鉄道に沿った天山山脈の西域都市でしたが、今回は砂漠を挟んだ南側でコンロン山脈の北側回廊の都市を訪れました。

④ホータン　ホータン便欠航

ウルムチから一日一便の航空便でホータンに移動する予定でニ時間近く搭乗待をしていたところアナウンスで「本日のホータン便はパイロットが疲れているので欠航です」誰も文句も言わずすごごと帰る姿をみてさすがは中国？と思いました。奥地のローカル便は旧ソ連のエアロフロート機をパイロット付きで買取り運行しているので予定は未定

地中のホータン王国

ホータン王国は紀元前千六百年～一百年に繁栄した仏教大国、風と砂塵に埋没した幻の都市です。現在の市街地から百㎞も砂漠に入ったところと言われていますが今だ発掘されていません。今でも温暖化によるコンロン山脈の降雪量の減少と飛砂で年々生活区域は山側に追いやられています、勿論植林など一部対抗しておりますが自然の力から見ればとてもとても又一～ニ千年先には間違いなく又「幻の都市」となることでしょう。

ホータン市　現市

ホータン市は人口二十五万人、中央アジア系、ウイグル、漢、インド、チベット系の人々が混在し宗教は主にイスラムと仏教　言語文字はウイグルです。

市街地は良く整備され大きなオアシス都市といった感じでした、町の中心に大きなロータリーがあり毎朝そこに朝市がたちます、近郷から野菜、衣類、食品雑貨それぞれの商品と黒山の人人それも三時間位で水が引いたように又静かなロ～タリーに戻ります、先ほどまでは何んだったんだろう。

そんな中の肉屋の話、肉やのオヤジ朝羊四頭を縄でつないでつれてきた、山頭は車にくくりつけた一頭をその場（路上）で解体し肉、内蔵等を並べた売れた少なくなったニ頭目　以下同様　冷蔵庫不要の産地直結新鮮肉。

傍らに羊の頭が転がしてあったので「どうするのか」とたずねたらオヤジひもに頭をつるして私に出し「皮を剥いて十五時間塩ゆでにしろ天下一品、日本人あげるから持って行け」有り難いお言葉でも手がでない　結局ガイドが喜んで謝謝（シェイシェイ）。

⑤回廊とヤルカンド　砂漠に消えていく大川

ホータンからヤルカンドに向かう途中川巾数百～一キロを越える大川（雪解川）があった、勿論すべて黄濁色どんな大きな川でも行き先は砂漠の中で「さまよえる湖」となって消えていく川です。

ただ一つ最大のホータン川は最盛期には砂漠を横断し北側の大川タムリ川と合流してから砂漠に消えるようですが、最近は水量が少なくほんの一時とか途中に木玉川と言う川があって人がなにやら小石を探している様子　聞けば玉（ぎょく）探しとのこと　早速挑戦してみましたが名人に聞けば「みんなダメ」本当は中に本物があったんだけれど捨てさせて後から拾うのではないか川の中にジャボンと捨てれば良かった、何と寒しい我が心。

羊を売りに行く青年

砂漠の中で何処までも続く一本道の途中長い移動中の羊の群に出会ったその最後部のあたりに小さく見える人がいた　車を止めて手を振って呼んでみた一人の青年だった聞けば130頭の羊を町に売りに行く途中とのこと今日で家を出てから4日目とのこと先導する先頭の訓練されたヤギとシンガリに追寄せる三匹の犬との6日間のキャラバン　帰りはヤギと犬とお金持って三日で帰るとのこと百三十×二千五百円＝三十二万五千円年収十年分何とも大きな責任仕事ボールペン一本上げた謝謝　再見つつがなく責任を。

街角のナイフ売り

車は凸凹道を幾つかの小さなオアシス村（水が有るところに部落が出来ている）どこも小さな出店がありナンの店　例の肉やハミウリの店もっも多いのは特産のステンレスナイフの店大小様々のナイフを三百本位並べて売っていまづ販売する時点では刃はついていません、買った人がグラインダと砥石で刃をつけるのですが所せんはステンレス大したことはなくアクセサリのたぐいです。

ヤルカンドの町は昔からカシガルとホータンの中継点いわゆる宿場町別に産業観光共に特記事項はないようでした。

人民招待所は一泊　また明日。

軒昂会会員数　八十七　名
平成十二年度新会員一　名
平成十三年度新会員募集中

軒昂会会員だより

お知らせ

またまた、懐かしい建物が消えました。伊勢原の地に最初に建てた南館　今は駐車場。

平成十三年度ゴルフ開催日（予定）

第五十回　三月二十六日（月）
第五十一回　六月十一日（月）
第五十二回　十月二十二日（月）

お願い

◎平成十二年度軒昂会年会費二千円会計までお振り込み下さい。
尚新年の総会に出席の方はその際集めさせていただきます。
第一勧業銀行　厚木支店
店番号　三七一
口座番号　ニ一三六九〇〇
軒昂会　代表者　小泉　岩根

訃報

佐藤利雄氏、さる十月八日逝去されました。ご冥福お祈りします。

「神奈川東海道ルネッサンス」について

桜田　忠男

私共は五十三次を二十五のブロックに分けて歩行をしましたが、連続して宿場を訪ね歩いた結果、五十三次の時代には現在よりはるかに優れた旅のシステムがあったことを知り、道に関して大いに見識を高めることが出来ました。

ミレニアムの幕開けの年となる２００１年は東海道に宿駅が制定されてからちょうど四百年を迎えることから街道筋の県や自治体が協力して「神奈川東海道ルネッサンス」と銘打った活動が実施されようとしています。

活動のコンセプトは単に交通路としての道路を考えるのではなくて、東海道五十三次の果たしてきた役割を見直して道と人、人と町の関係を再発見しようというものであります。

東海道沿いには東京、神奈川、静岡、愛知、三重、滋賀、京都の７つの府県がありますが東海道に対する思い入れはそれぞれ違うことが判りました、年頭にあたり神奈川県が今後この運動を推進して行く場合何をしたらいいかを考えました。

推進協議会が運動に併せて作成したウオーキングマップと、我々が実際に歩行して得た記録・資料とを照合してみたら次のようなヒントが出てきました。

1、歩行に使用するときの地図には現国道より旧東海道を中心にして作られていることが望ましい、たとえば神奈川宿の跡を見たい時は国道のどこから分かれて入っていったらいいのか、最寄り駅はどこかなどを知ることで見落とさずに見ることが出来る。そのようなウオーキングマップと助かる。

2、横浜市に住む人であっても高札場跡や袖ヶ浦の関門の正確な位置を知っている人は少ないので地図上に明記すると同時に、現場近くのポイントになる場所、例えば東神奈川の駅や青木橋の近くなどに宿場地図を設置すると助かる。

3、旧東海道にも現国道と同様に日本橋よりの距離が判る距離標識があるといいと思う歩行者にとって歩いた距離は自信に、目的地までの距離が判れば動機づけにもなる。

隣県の静岡県には、夢舞台東海道　の共通標識が箱根の山中城跡から白須賀宿迄の長い距離にわたりポイント毎に設置されていて東海道五十三次の宿場探求には役立つが日本橋からの距離はわからない。

県内にあった一里塚の復元が可能ならば理想的なのだが、六郷川の川崎側から箱根　峠迄にあった一　里塚の跡を明らかにして標柱を建て日本橋から何番目で何キロメートルと表示しただけでも助かる。

これはルネッサンスの必須条件であると思うので是非実現するよう努力が必要。

一里塚の保存では三重県の亀山と愛知県の阿野、復元では静岡県の長沢と三重県の　和田の一里塚のやり方が参考になる。

4、街道と並木はきっても切れない関係にあるが、神奈川県下の現存する並木では大磯と箱根のものは他県に引けをとなないと思うので積極的なアッピールをする必要がある、愛知県御油の松並木の整備・保存のやり方は参考になる。

以上

編集後記

今号で最終回、10回に渡っての連載ありがとうございました。引き続いて甲州街道編をお願いしています。また新年会では実際に体験されたお話をしていただきます。

また、小日向さまのシルクロード紀行も興味ある内容で毎回楽しく編集しています。次回もご期待下さい。

C.T